※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　新　高校の数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	改訂版　新　高校の数学Ａ対応　教科書学習ノート　数学Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

初めはなかなか分からなくても、練習問題を繰り返し解くことにより理解することができるのが数学の特徴です。最初から諦めず、問題を解くようにしていきましょう。分からないときには、先生や周りの友達に積極的に質問しましょう。

問題集については、答えだけを書くのではなく、途中式もしっかりと書くようにして、自分で答え合わせをしましょう。間違えた問題は、なぜ間違えたかを確認し、その答えになるのはなぜかしっかり考えましょう。

2　学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質、整数の性質について
(1) 基礎的な知識や技能を習得する。
(2) 事象を数学的に考察する能力を培う。
(3) 数学のよさを認識し、それらを活用しようとする態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率、図形や整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、場合の数と確率、整数や図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付け、社会の事象や自ら設定した問題について解決したり考察することができる。	場合の数と確率、図形や性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章	第1節　順列･組合せ 集合 集合の要素の個数 和の法則･積の法則 順列 組み合わせ	a:　ｎＰｒ・ｎＣｒの計算や順列・組合せの総数を求めることができる。 b:具体的な事例を通して樹形図や表などを用いて重複することなく効率的に数えたり考えたりすることができる。順列と組合せの違いについて理解している。 c:　具体的な事象の考察を通じて集合や順列･組合せについて考えようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
		第2節　確率 事象と確率 確率の計算 独立な試行と確率 条件付き確率	a:　いろいろな事象について、その確率を求めることができる。 b:確率の考えを全体集合と部分集合の関係の中で考え、基本的な確率について考察することができる。身近な事象をもとにして、事象の起こる程度を数で表すことについて理解している。 c:　いろいろな事象の確率について興味や関心をもち、問題を理解し、解決に意欲的に取り組もうとしている。具体的な事象の確率を、順列や組合せの考えを利用しようとする。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
２学期	第２章	第1節　平面図形 図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心･内心･重心 円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理 2つの円 作図	a:三角形や円の性質を利用して、線分の長さや角の大きさなどを求めることができる。基本の作図の方法を用いて、与えられた条件にしたがって作図することができる。 b:既習の図形の性質を基にして、三角形や円の性質を考察することができる。作図の方法を既習の図形の性質と関連付けて考えることができる。三角形や円の性質について理解し、それらを用いて線分の長さや角の大きさなどを求めることができることを理解している。作図の意味と方法を理解している。 c:三角形や円の性質に関心をもち、それを調べようとしている。作図に関心を持ち、その方法を考えようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察

※令和４年度以降入学生用

		第2節　空間図形 空間の直線･平面 正多面体	a:立方体や直方体などについて直線と平面の位置関係を求めることができる。いろいろな正多面体について頂点や辺の数を求めることができる b:空間における直線や平面の位置関係について的確みることができる。多面体の性質についてその性質を考えることができる。空間における直線と平面の位置関係について理解している。多面体の性質について理解している c:空間における直線や平面の位置関係に関心を持ち、それらについて調べようとしている	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
３ 学 期	第 ３ 章	整数の性質 倍数と約数 ユークリッドの互除法 方程式を満たす整数 2進法 分数と小数	a:　２進法と１０進法の変換する計算ができる。２進法で表された数どうしの和を求めることができる。 b:２進法と１０進法の変換の方法や，分数と小数の変換の方法について考えることができる。１０進法および２進法のしくみや整数の性質に関連付けて理解している。 c:　数の表し方や分数と小数の関係について関心をもち，それぞれの進数の良さや有限小数･循環小数になることを進んで調べようとする。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度